

(第3種郵便物認可)

今として 未来

県環境アドバイザーからの提言

「環境対策」と「経済成長」この二つのテーマは、日本では相反することと思われている。この点、環境先進国といわれているドイツをはじめヨーロッパの各国は、どのようにバランスを取り、進めているのか、日ごろから考えていることであった。ご存知のように各国では「発生抑制」と「供給者責任」という理念を背景に法整備が進んでおり、プラスチック系のごみの発生量は日本の十分の一、自然環境の保全やクリーンエネルギー政策の推進等は日本より先行しているのが現状である。

一方、日本は業界を中心とした経済優先思

奉仕重視から仕組み作りへ

考と国民意識の底辺にある現在の豊かな生活を失いたくないという問題点先送り体質故か、環境問題への意識改革、法制整備は遅れていると判断せざるを得ない。

幸い、私たち夫婦は、趣味の関係から、個人的にヨーロッパ等へ旅行する機会が多くある。その際、私は、行政マンや関係機関の方にあつた。特に飲料水メ



【すぎき かつあき】

富士見村石井。県環境アドバイザー連絡協議会代表、ぐんま日独協会事務局長、前橋市フ

地球人としての行動を

「地球環境の維持は、何よりも勝策として、奉仕的行動実がある。また、国民重点から、「努力した人間として、今やらねば、将来もっと大きな禍根を残すことになる。環境を守るために」

(鈴木 克彬)



トラム(市電)とDB(ドイツ連邦鉄道)が同じ軌道で相互乗り入れする—独カールス・ルーエ

は、我慢も含め努力が必要」とのことであった。また、新しい産業が必ず生まれる、いや実際に生まれているとも発言した。

私は、今年五月、県環境アドバイザーの一員として、環境視察のため、ヨーロッパ三カ国を訪問した。その際、ドイツでポイ捨て防止

広